

編 集 後 記

1 母国語で数学を学び、考え、語ることができる国は何
2 カ国でしょうか。多くはないはずで、その中でも日本は
3 数学‘先進国’といえます▼本誌は最先端の数学研究を日
4 本語で解説した、無償で閲読できる国内唯一の専門誌で
5 す。数学関連の和文雑誌は沢山ありますが、数学研究に
6 特化したという意味では唯一です。本誌の読者ならばこ
7 のことは既知でしょう。7 月から編集委員長として編集
8 作業に携わり、本誌の役割について改めて考えました▼
9 論説ができるまでの流れは、依頼稿であることを除けば
10 通常の投稿論文と同じです。査読もあります。さらに専
11 門外の読者にも読みやすい書きぶりの観点からの査
12 読もします。書評も査読します▼執筆者も査読者も編集
13 委員も無償で取り組み、優れた数学作品を残したい一心
14 で、高水準、高品質を長らく維持していることは‘数学’
15 の矜持です。一委員、一読者として関わっているすべて
16 の方々に感謝の言葉しかありません。(編集部)